

回覧

と き と り 桃 花 鳥

佐渡市立新穂小学校



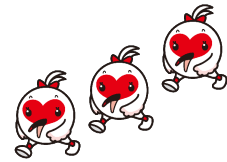
ホームページ <http://niibo-es.sado.ed.jp>
E-mail niibo-es@sado.ed.jp

第 4 3 7 号
令和 3 年 10 月 4 日

全校遠足 1 班



ときっこ班で！
楽しく 秋遠足！



校長 渡邊 俊行

9月17日（金）に2年ぶりの全校遠足に行ってきました。天候が心配だったため、学校に戻る時刻を30分早めましたが、帰るときまで天気がよくてよかったです。ご協力いただいた、神社やお寺、各地区の集落開発（活性化）センター、公民館、新穂歴史民俗資料館の皆様、そして、ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。そして、美味しいお弁当を作ってくださいましたお家の皆様、ありがとうございました。

おかげさまで、子どもたちは、大変よい経験をすることができました。私も1班について歩きました。まず感心したことは、出発して早々に畑仕事をしている人に元気よくあいさつをしていたことです。その後も、地域の人に会うとしっかりとあいさつをしていました。素晴らしいですね。次に、やっぱり楽しいんですね。歩きながらしりとりをしたり、休憩場所では楽しくお話をしたりしていました。普段の生活の中では、一緒に遊ぶことは少ないと思いますが、今日は同じ班の仲間。異学年との交流がたくさんあり、縦の関係がよくできていました。上の写真は、舟下の日吉神社で撮りました。「初めて来た」という子もいました。新穂には、たくさん、素敵なおところがあります。これからも、新穂のよさをたくさん見てほしいなとあらためて思いました。

他の班の話を見ると、大きなゴミ袋を持って、落ちているゴミを拾っていた子もいたとのことでした。素晴らしいですね。また、1年生と2年生は、初めての小学校の遠足だったわけですが、休憩の度に、少しずつおやつが食べられるのが本当にうれしいようで、ニコニコして食べていたという話も聞きました。子どもらしくて可愛いですね。また、疲れた下の学年のリュックサックを持っている上学年の姿も見ました。さすがです。立派だと思いました。

さて、9月の全校朝会で次のような話をしました。

まず、恒例のクイズ。（お子さんに聞いてもらえたらと思います）「柔らかな思考」と「よく聴く・よく見る」ことの大切さを話しました。

次に、パワーポイントを使って、東京パラリンピックの話をしました。8月の始業式で「パラリンピックを見てね」とお願いしたので、「パラリンピックを見た人？」と聞き、目が見えない選手の走り幅跳び等の映像と、パラアスリートからの前向きで素敵なメッセージを紹介しました。今回のパラリンピックで、「共生社会」や「多様性と調和」等の大切さがあらためて伝えられていました。私は、「みんな当たり前前に生活している社会。自分がやりたいから、そのスポーツをやっている社会。それが当たり前のこと。みんな違って、当たり前前の社会。そんな、全ての人が幸せにらせる社会。みんなと一緒に、楽しく、助け合って、喜び合ってすごす社会！」を創っていけたらなと思います。そんな未来を創り上げていくこれからの主役は、子どもたちです。パラアスリートからのメッセージ等を忘れずに、将来、活かされたら嬉しいです。併せて、「子どもたちも、夢や目標をもって取り組んでください。」と話をしました。

最後に、あいさつのお話をしました。私と一緒に毎朝校門前に立っている松山さんと担当の日に来られる保護者の方へ、しっかりとあいさつができて嬉しいという話と、あいさつのレベルアップ「聞こえる声で(元気な声)、相手の顔を見て、笑顔で。」ができるようになるとうい話をしました。(翌日から道路の反対側にいる保護者の方や警察官の方にもあいさつをする子が増えました！さすが新穂小学校の子どもたちです！)

》パラアスリートからのメッセージ《

ディラン・アルコット選手(車いすテニス、オーストラリア)

金メダルを取ることが僕の目標だと思われているかもしれないが、それは違う。僕の本当の目標は、人々の見方を変えて、障がいをもつ人たちが自分らしい人生を送ることができるようにすることだ。パラリンピックには、単なるスポーツを超えて、文化を変え、見方を変え、世界を変える力がある。

(写真等資料NHKより)



ヘイブン・シェパード選手(水泳、アメリカ合衆国)

人生は外見だけがすべてではないということを伝えたい。道を歩いているとき、みんなが私を見ている本当の理由は分からない。私は、『私がすてきだから、みんなが私を見るんだ！』と思うようにしている。だって、私自身が自分のことをすてきだと思っているから。

(写真等資料NHKより)



新潟県いじめ問題対策連絡協議会より



いじめ問題解決に向けて県民の皆さんの意識を高めてほしいと、新潟県いじめ問題対策連絡協議会から、共通メッセージが届きましたので、ご紹介します。新穂小学校でも、いじめが起きない環境づくりをし、もし起きたとしても、子どもたちに寄り添って、すぐに対応して解決を図っていけるようにしていきます。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

＜共通メッセージ＞

- 令和2年12月に制定された「新潟県いじめ等の対策に関する条例」を踏まえ、いじめを防ぎ、県民みんなで児童生徒が健やかに成長することのできる環境の整備に取り組む。
- いじめは、いじめを受けた児童生徒の心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は心身に重大な危険を生じさせるおそれがある。
- いじめの問題は、児童生徒だけの問題ではなく、心豊かで安全・安心な社会をいかにしてつくるかという、県民みんなで考えていくべき課題である。
- 新潟県いじめ問題対策連絡協議会では、いじめに悩む児童生徒を救うために、学校、家庭、地域、その他関係機関が強いネットワークをつくり上げる。
- 「いじめをしない！決して見逃さない！決して許さない！」「見て見ぬふりはしない！みんなで声を掛け合う！」を合い言葉にして、いじめ防止に全力で取り組む。
- 「SNS等の危険性に関する保護者・地域への意識啓発」と「家庭での望ましいネット利用のあり方」に焦点を当て、「ネットいじめの防止」の取組を展開し、いじめの未然防止に努める。
- 今年度は「感染症に関するいじめの防止」に県民全体で取り組む。